

パオラ・リヴォルシの音楽

Music of Paola Livorsi

作曲家によるレクチャー・コンサート



フィンランド在住のイタリア人作曲家であるパオラ・リヴォルシ氏が、彼女の音楽作品と日本文化・音楽との関連等、また彼女の音楽哲学について語り、以下の作品が演奏されます。

Paola Livorsi: “Dream light, Shadow stone” for noh performer and basset horn

青木涼子（能謡）、山根孝司（クラリネット）

Paola Livorsi: “Nottetempo” for piano

内本久美（ピアノ）

Paola Livorsi: “Eà” for flute and piano

丹下聡子（フルート）、内本久美（ピアノ）

Pehr Henrik Nordgren: Yuki-onna form “10 Balladen after Japanese spirit stories or Kwaidan Balladen”

内本久美（ピアノ）

主催：愛知県立芸術大学音楽学部作曲専攻作曲コース・名古屋大学大学院国際言語文化研究科

後援：フィンランドセンター

日時：2013年3月24日（日）14:00～15:30

場所：愛知県立芸術大学音楽学部合奏室

通訳：壬生千恵子

パオラ・リヴォルシ Paola Livorshi

1967年アレッサンドラ（イタリア）生まれ。現在、フィンランド在住。1996年トリノ音楽院卒業。1996~1997年にリヨン音楽院でフィリップ・マヌリに師事。1997~1998年にシベリウス・アカデミーでカイヤ・サーリアホに師事。1999-2000年にパリのCCMIXで、2000~2001年 IRCAM でコンピューター音楽を学ぶ。フランコ・ドナトーニ、ジョルジュ・リゲティ、イヴァン・フェデレー、サルヴァトーレ・シャリーノにマスタークラスで師事。1994年にコモにて Concorso Nazionale per Musica Vocale e Strumentale per Ragazzi 第1位を受賞。また、CIMO 奨学金、GAI 奨学金を取得、シベリウス奨学金、フィンランド文化財団奨学金等を取得。これまでに、ローマの the Foundation Adkins-Chiti の委嘱、また Saarländischer Rundfunk の委嘱を受け、クラングフォルム・ウィーンのために作曲した。彼女の作品はパリのアゴラ・フェスティバル、ヘルシンキ・ムジカ・ノヴァ、ベルリン・メルツ・ムジーク、ヴェニス・ヴィエンナーレ、ミラノ・ムジカ等で演奏されている。